



国際ロータリー2023-24年度テーマ

第2780地区 ガバナー
田島 敏久

第3グループガバナー補佐
村上 進



世界に希望を生み出そう

- 創立 / 昭和29年6月3日
- 第70代 会長 / 小河 静雄 幹事 / 小澤 智幸
- 事務所 / 藤沢市藤沢93新堀ライブ館204 TEL: 0466-25-4000 FAX: 0466-26-9292 E-mail: info@fujisawa-rotary.com
- 例会日 / 毎週水曜日 12:30~13:30
- 例会場 / 湘南鎌倉クリスタルホテル TEL: 0466-28-2111

NO. 27 第3327例会 2024年 2月 21日 天候 曇り

ロータリーソング「それでこそロータリー」
「四つのテスト」 北野 吉男 会員

《会長挨拶》 大小原副会長

- ・小河会長がご欠席の為、代行します。
- ・リユースの業界の話をして。日本は高齢化が進み、空き家が増えたり、家財の片づけなどがあり年々業績が上がっています。来年は4兆円産業になると言われています。藤沢RCの会員からお声がけいただいて、うかがっています。木島先生からはゴルフの優勝トロフィーをお預かりしました。クラブの為に使っていただきたいのとことですので、今後ご相談させていただきます。

《幹事報告》

- ・5月11日(土)18時より第3グループでカラオケ大会を開催致します。会場は新堀ライブ館です。後日ご案内お送りしますので、ご参加下さい。
- ・来週28日のオープン例会、ゲストをご招待ください。
- ・委員会・会議等
 - 2月15日 第3グループ会長幹事会
出席者：小河会長 小澤幹事
 - 2月24日 地区チーム研修セミナー
出席者：鈴木大次次年度委員長

《委員会報告》

- ・大小原 職業奉仕委員長
3月6日の例会より、「4つのテスト」と「小話」同時に担当いただきます。順番お声かけは、職業奉仕委員会で管理します。3月6日は川上会員にお願いしました。

《お祝い》

会員誕生日 2月22日蛭田 圭一会員



出席報告

()内は計算に用いた会員数

例会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メイクアップ 会員数	修正出席者数	修正出席率
2月7日	40(37)名	24名	13名	64.86%	0名	24名	64.86%
2月21日	4(38)名	26名	12名	68.42%			

《スマイル報告》

木島 英夫 会員

卓話を聞いていただきますので。

川上 彰久 会員

木島先生、卓話楽しみにしております。

廣島 純 会員

木島先生、卓話楽しみです。

よろしくお願ひします。

小澤 智幸 会員

木島会員、思い出卓話、よろしくお願ひ致します。

鈴木 大次 会員

木島先生、卓話楽しみです。

新堀 きよみ 会員

本日は木島線背の卓話、菊地会員の小話が楽しみです。

岡崎 記久子 会員

木島先生、卓話よろしくお願ひします。

蛭田 圭一 会員

誕生日祝いありがとうございます。

《小話》

菊地 賢一 会員



高校、大学、社会人と10年、アメリカン・フットボールをやっておりました。今月11日、アメリカ、プロフットボールの頂上決戦、スーパーボールが行われました。アメリカ4大スポーツが、野球、バスケットボール、アイスホッケーとアメフトです。その最大イベントが、スーパーボールです。2月4日、音楽の祭典グラミー賞で、テイラー・スウィフトが4回目の受賞をしました。彼女は2月7日から2月10

日まで東京ドームでワールドツアー中でした。その直後プライベートジェットで、ラスベガスのスーパーボールの会場を見に行くというので、全米の注目を集める大会となりました。白熱した試合は、大会史上2回目の延長戦となりました。2年連続優勝を目指すチーフスと29年ぶりの優勝を目指すフォーティライナースの対戦でしたが、最後残り3秒でサヨナラ逆転タッチダウンパスで、チーフスの優勝となりました。この歴史的な試合のテレビ視聴者数は、全米で1億2千3百万人、3人に1人が見たこととなります。1969年の月面着陸以降の最高視聴率だったそうです。

《卓話》

「思い出卓話」

元 木島医院

医院長 木島 英夫 会員



整形外科医を長くしておりますが、肩こり、腰痛、膝の痛み、これを治せば一流です。壊したものは前より良くは治りませんと患者さんに話します。年を取らないわけはいきませんし、若い頃と同じように機能することはありません。長持ちするには、壊さないように大事に使うのが一番の秘訣です。

入会したのは、1972年、昭和47年3月22日です。52年になります。人生の半分以上をロータリーにお世話になっております。ロータリーは、人間関係を人生を豊かにしてくれた、それにつきまします。思い出すままに何人かの人をご紹介します。

このクラブに紹介して下さったのは、中山二郎先生。高校、大学医学部両方の先輩です。医師としても目をかけていただき、先生の後についた職もあり

ます。中山先生は、創立メンバーです。横浜クラブの丹波特別代表が、集められたお1人で、一言一句説明と同意を求めて、創立総会に至るのは大変だったとうかがいました。

その中でも岩崎裕倅さんは、大変優等生でした。聞いたこともないようなアーチ・フランク賞をもらっている、ロータリーの中でも珍しい人です。率先してたくさんの子クラブを作りましたおかげで、藤沢クラブは、この界限でちょっと大きな顔をしていられます。しいて欠点を挙げると、裱が脱げない、硬い雰囲気の例会を長々続けることになりました。ロータリーに徹した方でした。

堀清彦さん、大塚貞夫さんも忘れられない方です。若手の会員を集め、お座敷遊びを手ほどきしてくれて、ロータリーにはこういう世界もあると紹介してくれました。面白くて溺れない、上手な遊び方を教えてくれました。京都まで行って、京都中の芸者さんを総揚げするようなことがあったのは、歌舞伎座の副社長だった大塚さんの力でした。堀さんは、株の指南をしてくれました。「素人はポケットマネーの範囲をこえるな、大儲けをしようとするな」と細かいことをアドバイスいただきました。影響力の大きな人でした。

藤沢クラブがこの地区で大きな行事を主催する時、必ず動員される人がいました。「頭の山本、体の小島」記憶に残っているのが、山道昭彦さんがガバナーをした地区大会。山本政雄さんが地区幹事、小島正幹さんが地区副幹事でした。山本さんの企画で、小島さんが体を張って運営をするとなんとかなるという具合でした。山本さんは丸投げするようなことをしなかったのが、行事をうまく運ぶことが出来ました。山本さんは宮沢賢治の「雨にも負けず」が大好きで、最後のフレーズ、「そういうものに私はなりたい」が口癖でした。よくご自宅に遊びに行って、奥さんの手料理をごちそうになり、取り留めのない話、政治の話などを延々した思い出があります。小島さんは今名誉会員。ちょっとガサツなところがありますが、米山奨学生の世話を大変親身になってする人です。おかげでカジャンロータリークラブと友好クラブを締結しました。韓国の奨学生をお世話した時、韓国は近くて遠い国なのですが、一生懸命、膝を埋める努力をしました。目立たないことを頑張る人です。

最近の会長で忘れられないのが、大野木加代子さんと瀧澤秀俊さん。大野木さんは女性会員をたくさん入れてくれました。長らく脱げなかったクラブの裱を脱がせてくれた、今の雰囲気は、よそのクラブの会員も評価してくれる。大きいことをやって下さったと思います。亡くなられてしまったことが残念です。瀧澤さんは、会長職にあった時、東日本大震災が起きました。現地に足を運んで、仙台南クラブの本当に必要な援助を把握し、しかるべき支援をクラブを挙げてやってくれました。瀧澤さんが会長だったからこそ、できたことだと思います。それまでは仙台南クラブとは遊び友達のような感じでしたが、このことでロータリーの姉妹クラブとはかくあるべしというレベルに格上げしてくれました。

個人的な話をして終わります。70周年の6月で卒業する決心をしました。そうせざるを得ない事情があります。昨年の秋、検査をすると肺がんが見つかりました。年齢的に積極的な治療をしないことにしました。1月に進行していることがわかったので、なるべく安静を心掛けるようにします。お正月を迎える前に卒寿になりますので、「卒寿とて 散るを急ぐな 冬紅葉」と読みましたが、「散る時は 散るがよからう 冬紅葉」という心境になりました。長いことお世話になったロータリーですが、70周年という区切りで卒業させていただくということで、よろしくお願ひします。90歳過ぎて会員だったメンバーは、何人もいましたし、もう少し頑張ろうとも思いましたがあまり無理をしない方がよいという訳で、卒業させていただきます。6月の終わりまではお世話になります。



本日のお料理